【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和7年1月10日(2025.1.10)

【国際公開番号】WO2023/210706
【出願番号】特願2024-518002(P2024-518002)
【国際特許分類】
H04W 72/12(2023.01)
H04W 72/0446(2023.01)
H04W 72/11(2023.01)
H04W 72/115(2023.01)
【FI】
H04W 72/12
H04W 72/0446
H04W 72/11
H04W 72/115

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月25日(2024.10.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８６】
すなわち、ｇＮＢ２００は、ＰＵＳＣＨ送信（又はＰＵＳＣＨの無線リソース）を所定期間延長するか否かを示す設定情報を含むＣＧ設定をＵＥ１００に対して行う（ステップＳ１０）。当該設定情報には、ＰＵＳＣＨ送信（又はＰＵＳＣＨの無線リソース）の延長期間を示す情報（例えばタイマ値）が含まれてもよい。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９２】
このように、ＵＥ１００は、ＤＲＸの周期タイミング（すなわち、オン区間（Ｏｎ　ｄｕｒａｔｉｏｎ））でｇＮＢ２００からＰＤＣＣＨを受信しなかった場合、ＰＤＣＣＨのモニタリングを所定期間延長する。そのため、変形例２も、ＤＲＸのオン区間において、ＰＤＣＣＨを受信することができなかった場合でも、次のオン区間まで待つことなく、ＰＤＣＣＨモニタリングの延長期間においてＰＤＣＣＨを受信することができる。そのため、変形例２においても、伝送遅延を抑制させることができる。よって、移動通信システム１において、ＸＲトラフィックを用いた通信を適切に行うことが可能となる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９７】
これにより、例えば、ＳＰＳタイミングにおけるＰＤＳＣＨのモニタリングに対してその延長をｇＮＢ２００がＵＥ１００に通知（又は指示）することで、ｇＮＢ２００が主導

して、ＵＥ１００に対して、ＰＤＳＣＨモニタリングの延長を制御できる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
移動通信システムにおける通信制御方法であって、
ユーザ装置が、ＳＰＳ（Semi-Persistent Scheduling）の周期タイミング又はＤＲＸ（Discontinuous Reception）の周期タイミングでネットワークノードからＰＤＳＣＨ又はＰＤＣＣＨをそれぞれ受信しなかった場合、前記ＰＤＳＣＨのモニタリング又は前記ＰＤＣＣＨのモニタリングを所定期間延長すること、を有する
通信制御方法。
【請求項２】
前記ネットワークノードが、前記ＰＤＳＣＨのモニタリング又は前記ＰＤＣＣＨのモニタリングを前記所定期間延長するか否かを示す設定情報を前記ユーザ装置へ送信すること、を更に有し、
前記延長することは、前記ユーザ装置が、前記設定情報に基づいて、前記ＰＤＳＣＨのモニタリング又は前記ＰＤＣＣＨのモニタリングを前記所定期間延長することを含む、
請求項１記載の通信制御方法。
【請求項３】
前記ネットワークノードが、前記ＰＤＳＣＨのモニタリング又は前記ＰＤＣＣＨのモニタリングを前記所定期間延長することを示す第１待ち受け延長通知を前記ユーザ装置へ送信すること、を更に有し、
前記延長することは、前記ユーザ装置が、前記第１待ち受け延長通知を受信したことに応じて、前記ＰＤＳＣＨのモニタリング又は前記ＰＤＣＣＨのモニタリングを前記所定期間延長することを含む、
請求項１記載の通信制御方法。
【請求項４】
前記ユーザ装置が、前記ＰＤＳＣＨのモニタリング又は前記ＰＤＣＣＨのモニタリングを前記所定期間延長することを示す第２待ち受け延長通知を前記ネットワークノードへ送信すること、を更に有する
請求項１記載の通信制御方法。
【請求項５】
移動通信システムにおける通信制御方法であって、
ユーザ装置が、ＣＧ（Configured Grant）の周期タイミングでネットワークノードへＰＵＳＣＨを送信しなかった場合、前記ＰＵＳＣＨの送信を所定期間延長すること、を有する
通信制御方法。
【請求項６】
前記ネットワークノードは、前記ＰＵＳＣＨの送信を前記所定期間延長するか否かを示す設定情報を前記ユーザ装置へ送信すること、を更に有し、
前記延長することは、前記ユーザ装置が、前記設定情報に基づいて、前記ＰＵＳＣＨの送信を前記所定期間延長することを含む、
請求項５記載の通信制御方法。
【請求項７】
前記ネットワークノードは、前記ＰＵＳＣＨの送信を前記所定期間延長することを示す第１待ち受け延長通知を前記ユーザ装置へ送信すること、を更に有し、
前記延長することは、前記ユーザ装置が、前記第１待ち受け延長通知に従って、前記Ｐ

ＵＳＣＨの送信を前記所定期間延長することを含む、
　請求項５記載の通信制御方法。
【請求項８】
　前記ユーザ装置は、前記ＰＵＳＣＨの送信を前記所定期間延長することを示す第２待ち受け延長通知を前記ネットワークノードへ送信すること、を更に有する
　請求項５記載の通信制御方法。
【請求項９】
ユーザ装置であって、
前記ユーザ装置が、ＳＰＳ（Semi-Persistent Scheduling）の周期タイミング又はＤＲＸ（Discontinuous Reception）の周期タイミングでネットワークノードからＰＤＳＣＨ又はＰＤＣＣＨをそれぞれ受信しなかった場合、前記ＰＤＳＣＨのモニタリング又は前記ＰＤＣＣＨのモニタリングを所定期間延長する制御部を有する
ユーザ装置。
【請求項１０】
ユーザ装置であって、
ＣＧ（Configured Grant）の周期タイミングでネットワークノードへＰＵＳＣＨを送信しなかった場合、前記ＰＵＳＣＨの送信を所定期間延長する制御部を有する
ユーザ装置。